

参加費
無料

ダブルケアかわさき

私たちの身近なケアを 学ぶ～プチ勉強会

2019年度、ダブルケアかわさきは、川崎市内で繰り返し、私たちの身近なケアを学び、つながるための、小さな勉強会を開催します。

ダブルケアやケアに興味のある方、いままさに取り組んでいる方、学びたい方、お気軽にお越しください。

日時

2020年1月22日（水）
10：15～12：00
（受付開始 10:00）

会場

川崎市男女共同参画センター3F会議室
（川崎市高津区溝口2-20-1）

定員

18名程度

対象

このテーマに関心のある方、
支援者として携わっている方

保育

あり（1歳～未就学児 先着 5名）
詳細は、裏面をご確認ください。

主な内容

- ★ ダブルケアとは？
- ★ 私たちの身近なケアを知る
- ★ ダブルケアの事例
- ★ それぞれのケア
- ★ 何があったらいいだろう

主催者・
お申込み
お問い合わせ

ダブルケアかわさき もしくは川崎市男女共同参画センターまで。

TEL 044(813)0808（川崎市男女共同参画センター 代表電話）

URL <https://www.facebook.com/groups/983644551844624/>
MAIL chiho.takayasu@gmail.com（事務局 高安）

申込受付中

メールにて、参加日時、ご参加者のお名前をご連絡ください。
お預かりした個人情報については、厳重に管理し、法令で定められた場合を除き、
本講座の目的以外に利用することはありません。

団体紹介

「ダブルケアかわさき」とは

2018年12月にすくらむ21で開催されたダブルケアをテーマとした勉強会「ダブルケアー育児と介護の同時進行の現実と支援の今を見つめる」に参加した、メンバーを中心にケアを取り巻く現状を社会やまちに発信し続けたい、また私たち自身(ダブルケア当事者)の声を発信することが必要だと考え、結成いたしました。私たちがケアにまつわる現状と理解を深めることだけでなく、誰もがケアやケアラーに当事者意識を持つことができる、ケアを理由にした離職の防止、ケアを理由とした不当な評価やハラスメントの防止、社会的孤立からの早期の解消などを勉強会を通じて考えます。ケアに追われて、「こうしたい」がなかなか叶えられない葛藤を、一人で、家族で、抱え込まず、ちょっとした生活のヒントや息抜きの場として気兼ねなく訪れることができる勉強会をめざしています。

「ダブルケア」とは



ダブルケア(多重ケア)とは、育児と介護の同時進行、例えば、高齢者介護だけでなく、介護と孫支援、配偶者や自分のケア、障がいのある兄弟のケア、非正規シングルと親のケア、障がいを持つ成人と親のケア、多文化家庭におけるケア関係など、ケアを必要とする家族が同時期に複数名いる状態をダブルケア状態と言い、それらのケアを主として担うものを「ダブルケア当事者」といいます。

保育申込についての詳細



【保育料】350円(対象:1歳から就学前まで)※1/17までに要予約

【保育持ち物】飲み物、おむつ、おやつ、ハンドタオル、ビニール袋、着替え
※すべてに記名ください。

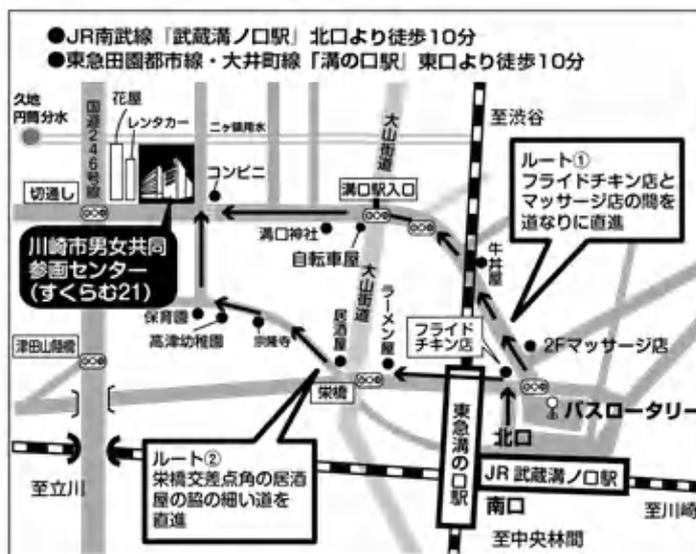
次回は
2月(宮前区)
開催予定

当日の講座開始前に1階受付で手続き(「保育室利用連絡カード」の記入、保育料のお支払い)がございます。

会場

川崎市男女共同参画センター(愛称:すくらむ21)

会場までのアクセス



〒213-0001
川崎市高津区溝口2丁目20番1号

TEL:044-813-0808

URL: <https://www.scrum21.or.jp/>

スマートフォンでホームページから申込み場合はこちらのQRコードを読み取ってアクセスしてください。



すくらむ21

検索